

## スクリーン面についてのご注意

ホワイトボード専用のマーカーをご使用ください。油性・水性ペンでは絶対に書かないでください。スクリーン面に書いたまま長時間放置しますと消えにくくなる場合があります。イレーザーで消えないときは、水拭きしてください。それでも消えないときはアルコールをつけた布で拭き取ってください。手の脂分が幕面に付着すると消えにくくなる場合があります。極端に早書き・早消しするときれいに消えない場合があります。

## お手入れについて

スクリーン面に汚れが生じた場合は、水を含ませたやわらかい布を十分に絞り拭き取ってください。その後、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。(汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤にやわらかい布をひたし、十分に絞り拭き取ってください。)必ず洗剤は水を含ませた布で完全に拭き取ってください。

※ベンジン・シンナー等の油性のものや、硬い物を使用した場合、生地破損の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

## 故障かな?と思ったら

修理が必要な場合は販売店または営業担当者までご連絡ください。

## 廃棄

この製品を廃棄するときは専門業者にご依頼ください。また、廃棄業者にこの「取扱説明書」もご提示ください。

### ■主要部品の材質

・スクリーン面	PETフィルム、フッ素樹脂、マグネット
・スクリーン本体ケース	アルミ
・取付金具	鉄

## 取扱説明書について

この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店までご連絡いただき、内容を確認の上、ご請求ください。この製品を譲渡される場合は、必ず次の所有者にこの説明書を添付して譲渡してください。

<h1 style="margin: 0;">保証書</h1>			<b>保証期間</b> ご購入日より <b>1年間</b>
品名・形式 マグネットスクリーン KCM-	販売店	ご購入日	
お名前	ご住所 〒	ご連絡先	
お客様			

20221102

販売店名

# 取扱説明書


## KCM マグネットスクリーン





この度はお買い上げいただきありがとうございます。






### 安全に使用していただく図記号の説明

ご使用になる前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。

 記号は禁止事項を表しています。

 記号は行為を指示することを表しています。

 警告		<ol style="list-style-type: none"> <li>スクリーンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。</li> <li>取り付けの場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。落下の危険があります。</li> <li>本体と取付金具を固定するアプセットビスが確実に締まっている事を確認してください。落下の危険があります。</li> </ol>
		<ol style="list-style-type: none"> <li>部品、製品を分解しないでください。落下の危険があります。</li> <li>上部黒マスク部分に「Danger」マークが左上に現れたら、それ以上は下げないでください。スクリーン面が落下する危険があります。</li> <li>スクリーン面にぶらさがったり、物を掛けたりしないでください。また、無理な力を加えないでください。本体、スクリーン面が落下する危険があります。</li> </ol>
 注意		<ol style="list-style-type: none"> <li>スクリーン面を昇降させる際には、周囲を確認してから操作してください。スクリーン面が人や物に接触する可能性があります。危険です。</li> <li>使用後は必ずスクリーン面を収納してください。長期間使用した状態で放置すると、スクリーン面の品質を損なう恐れがあります。</li> </ol>

# スクリーンの取り付けを行う方へ

## (1) 付属品の種類・数量の確認

付属品の一覧	
スクリーン本体……×1	スクリーン金具……×2
トラスタッピングビス……×8 (4×30mm)	ベース金具……×2
板ナット……×2	アプセットビス……×4 (M5×8mm)
フック棒……×1	アプセットビス……×8 (M5×10mm)

## (2) 製品各部の名称

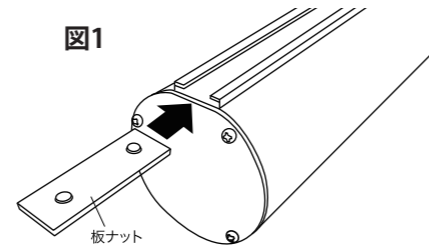


# スクリーンの取り付け方法

## (1) 板ナットの取り付け

付属の板ナット(2枚)を右図1のようにスクリーン本体の上部溝に挿入します。

図1



**警告** スクリーンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。

## (2) 黒板への取り付け

ベース金具を図2のように、付属のトラスタッピングビス(4×30mm)を使用し、黒板の天面にしっかりと固定します。平面黒板の場合は、図3のように取付金具と、黒板天面の端を揃えて位置を決めてください。曲面黒板の場合は、図4のように取付金具の内側の端を、黒板店面の端に揃えて位置を決めてください。

図2

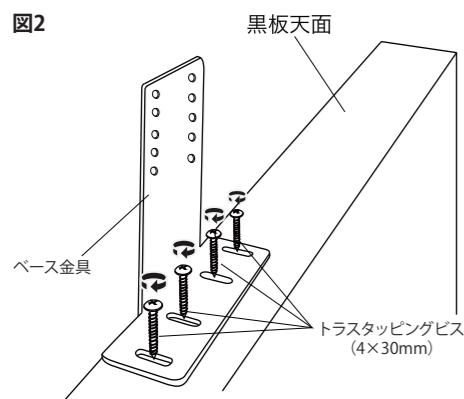


図3

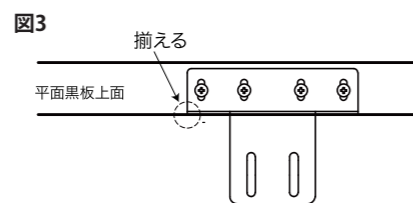
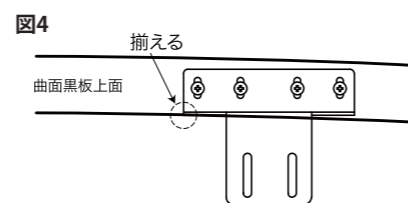


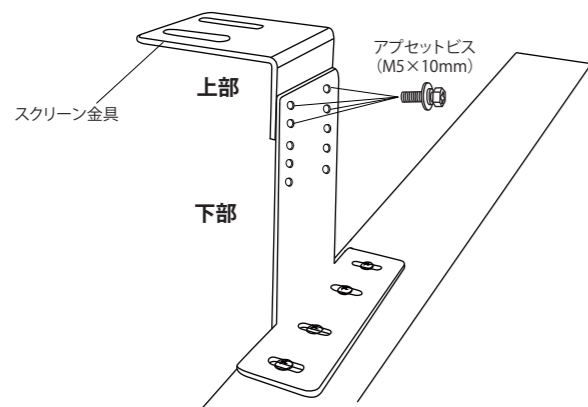
図4



**警告** 取り付ける場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。落下の危険があります。

## (3) スクリーン金具をベース金具に取り付ける

スクリーン金具の位置は、ベース金具の上部に取り付ける方がスクリーンを貼り付けやすいです。必ずスクリーン金具は、ベース金具にアプセットビス(M5×10mm)4本で固定してください。



## (4) スクリーン本体の取付位置調整

前項(1)で挿入した板ナットに、取付金具をアプセットビス(M5×8mm)2本でしっかりと固定してください。図5のように平面黒板の場合、スクリーンを降ろした際にスクリーン面と黒板との間隔が10mm程度になるように取付金具の長穴で位置を調整し、固定してください。

図6のように曲面黒板の場合、スクリーンの端位置と黒板との距離が、10mm程度になるように取付金具の長穴で位置を調整し、固定してください。

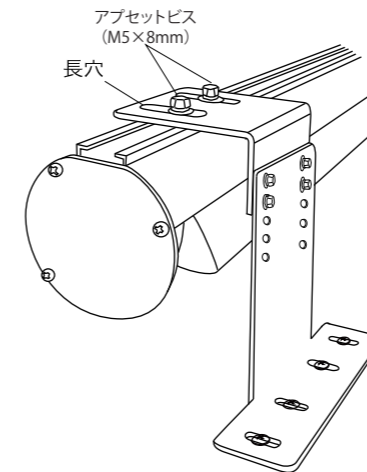


図5

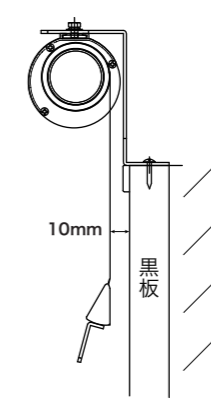
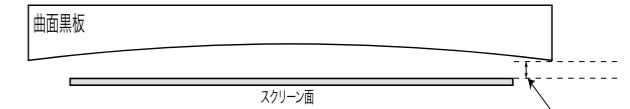


図6

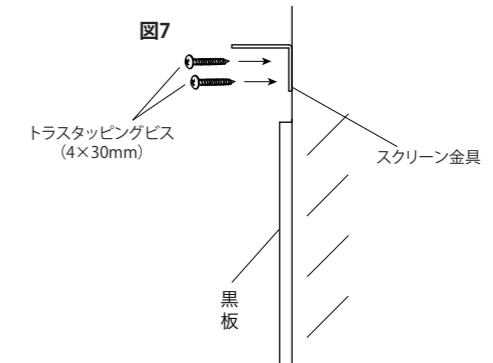


**警告** スクリーン本体と取付金具を固定するアプセットビスP=3(M5×8mm)が確実に締まっていることを確認してください。落下の危険があります。

## (5) 黒板上部にベース金具を取り付け出来ない場合

スクリーン金具を図7のように、付属のトラスタッピングビス(4×30mm)を使用し、壁面にしっかりと固定します。(コンクリート等の壁面の場合の取付ビスは付属していません。)スクリーン金具取り付け後、(4)の作業をおこなってください。

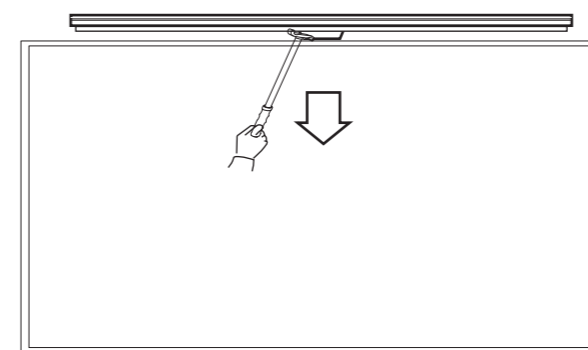
図7



# スクリーンの使用方法

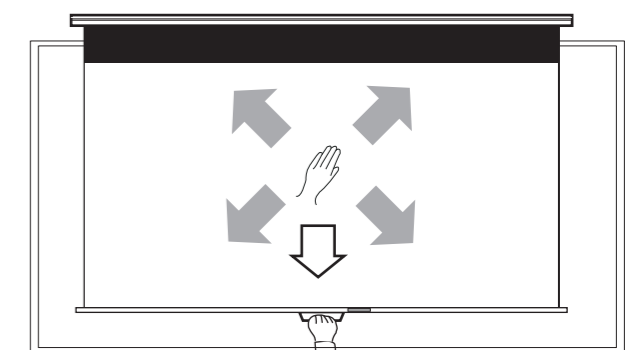
## (1) 引き下げる

フック棒を吊りカンに掛けて、ゆっくりと引き下げてください。一定の間隔でストッパーが作動して止まります。(ストッパーは巻き上がるときに作動します)



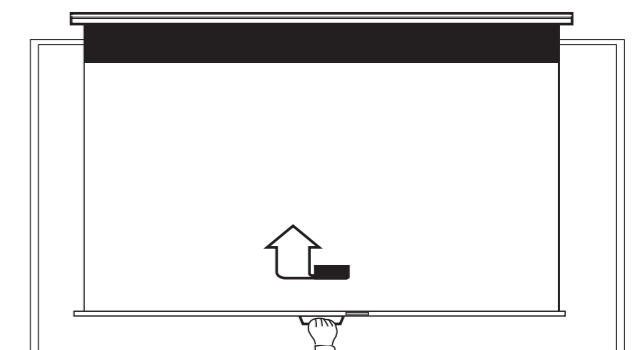
## (2) マグネット面を黒板に貼り付ける

スクリーンのストッパーを作動させたら、スクリーン面の中央付近を押さえ、空気が入らないように黒板に貼り付けてください。



## (3) 収納する

吊りカンを手で持ち、スクリーン面を黒板から全体的に剥がし、ストッパーが作動している状態から引き下げ、ストッパーを解除します。その後、手を添えて巻き上げスピードに合わせてケースに収納してください。



**注意**

- 幕面上部にDangerマークが出たらそれ以上スクリーン面を引き出さないでください。落下の原因になります。
- スクリーン面を操作するときは必ず吊りカンを持ってゆっくりと操作を行ってください。故障・落下の原因となります。
- 黒板からスクリーン面を剥がすとき、横にねじったり、強く引っ張ったりしないでください。落下・破損の原因になります。